

車輪製造ラインにおける圧延工程（ホイールミル）の設備強化対策について

新日鐵住金株式会社（以下、新日鐵住金）は、2020年中期経営計画の主要施策の1つである「国内マザーミルの“つくる力”の継続強化」の一環として、交通産機品事業部製鋼所において、車輪製造における圧延設備であるホイールミルの全面更新を決定致しました。

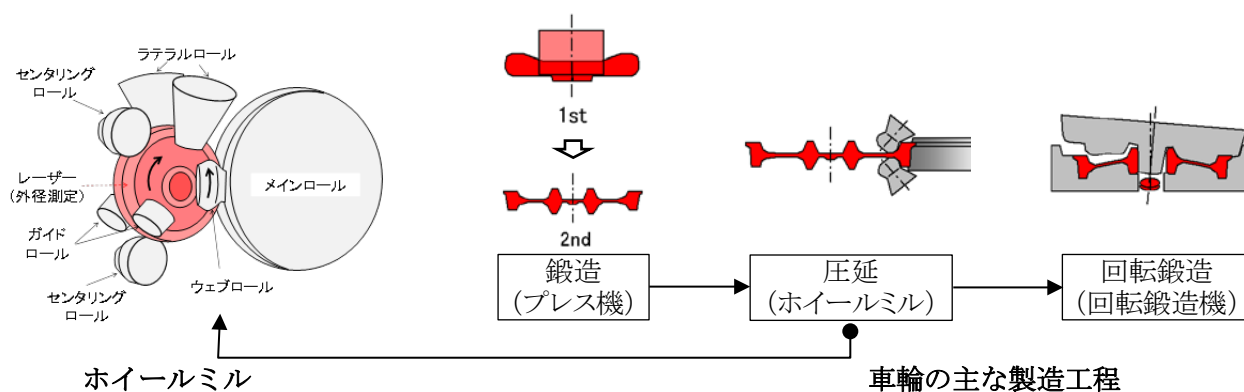
新日鐵住金は国内唯一の鉄道用車輪製造業者であり、国内外のお客様向けにハイエンドな車輪を製造・販売しています。ホイールミルは、鉄道用車輪を製造する上で、熱間で車輪の形状を造り込む工程を担う重要な設備です。

今回、世界最新鋭のホイールミルを導入し、当社独自の回転鍛造技術と組み合わせることで、圧延精度および品質レベルの更なる向上を目指します。これにより、国内外のお客様に対して、より高品質な付加価値の高い車輪を、将来に亘って安定供給していくための製造基盤を強化すると同時に、欧州規格への対応力も強化し、グローバル化も加速してまいります。

新日鐵住金は、鉄道車両の一層の安全性・信頼性向上に寄与する取組みを継続し、今後も鉄道の安全運行に貢献してまいります。

<設備投資の概要>

1. 更新設備 : ホイールミル
2. 稼働時期 : 2021年春頃を予定
3. 投資額 : 約24億円



(お問い合わせ先) 総務部広報センター TEL : 03-6867-2977, 3419, 2146, 2135

以上



新日鐵住金

2019年4月 日本製鉄へ